

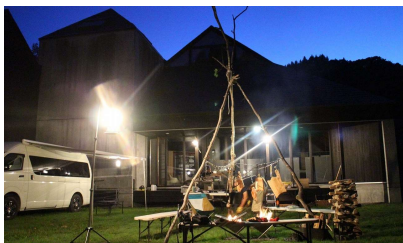
沼田町

人口 2,951人(2022.1)
 主な観光ポイント
 ほたるの里、ほろしん温泉ほたる館

2023年「自然学校」の設立



雨竜川でスタンドアップパドルボード



焚き火を囲んでジビエ料理

自然学校の設立・運営による稼ぐ地域への発展

沼田町では、石炭、ほたる、農業、利雪など、町内の数ある資源を結びつけ、子どもから大人までが集い、1年を通して森であそべる「ノマド自然学校（仮）」の設立を目指しています。

この自然学校では、ノマドワーカー（通常のオフィス以外の様々な場所で仕事をする人々）を定期的に招き、ノマドワーカーを中心にした自然体験プログラムの実施などを計画しており、2023年の学校設立に向けて、資源調査、体験プログラムづくり、ノマドワーカー受入のためのコーディネーター人材の育成などを進めます。

■プロジェクト
沼田町まると自然体験プロジェクト

自然学校設立に向けた調査/
 体験プログラムづくり など

事業年度・事業費

令和2～4年度
 各年度24,200千円(予定)



「森のようちえん」も開催



〈沼田町産業創出課〉

☎0164-35-2155

mail: sangyou@town.numata.lg.jp

札幌市

人口 1,960,668人(2022.1)
 主な観光ポイント
 大通公園、札幌テレビ塔

さっぽろ圏域を支える「ひと」の育成



魅力いっぱいの札幌圏



子どもがSDGsを考える場の創出

『まちづくり』は『ひとづくり』

さっぽろ連携中枢都市圏では、「『まちづくり』は『ひとづくり』である」との考えのもと、圏域を支える人材を育成・確保し、持続可能な「まちづくり」につなげるため、若者の地元定着に向けた奨学金返還支援や多様な業種を体験できるインターシップの開催、子どもの文化芸術体験や環境問題を考える場の創出、周産期救急医療従事者スキル向上研修事業など、人材育成に関する幅広い取組を展開しています。

◆さっぽろ連携中枢都市圏

人口減少・少子高齢化社会にあっても圏域内の活力を維持し、魅力あるまちづくりを進めるために、札幌市と関係11市町村（小樽市・岩見沢市・江別市・千歳市・恵庭市・北広島市・石狩市・当別町・新篠津村・南幌町・長沼町）で形成。

■プロジェクト
さっぽろ圏「ひとづくり」プロジェクト

地元就職者への奨学金返還支援
 ／環境問題を考える場の創出/
 周産期救急医療従事者スキル向上研修など

事業年度・事業費

令和2年度～



つながりが、新しい未来をつくる

さっぽろ
 連携中枢都市圏

Sapporo・Otaru・Iwamizawa・Ebetsu・Chitose
 Eniwa・Kitahiroshima・Ishikari
 Tobetsu・Shinshinotsu・Nanporo・Naganuma

さっぽろ連携中枢都市圏ロゴ



〈札幌市まちづくり政策局政策企画部
 企画課広域連携担当〉

☎011-211-2281

mail: ki.kikaku@city.sapporo.jp

岩内町

人口 11,658人(2022.1)
主な観光ポイント
オートキャンプ場マリンビュー

岩内高等学校との連携事業



北海道岩内高等学校



「探究の時間」の課外活動の様子

岩内高等学校との連携・協働で地元へ愛着を

岩内町では、「働く場がない」「学べる場がない」という理由で、若者の地元離れが深刻化しています。こうした若者の地元定着を促進するため、岩内高等学校と連携し、地元へ愛着をもった若者の育成を目指します。

総合的な学習として実施される「探究の時間」に、地域おこし協力隊員を講師として派遣し、高校生が地域の魅力の発見や地域課題の解決を目指す機会を提供するほか、卒業後の進路について検討する場である、「地元企業研究会」へ参加し、「働く場」「学べる場」づくりを推進しています。

■プロジェクト

岩内高等学校魅力化プロジェクト

企業と連携した進路の検討／総合学習での連携 など

事業年度・事業費

令和2年度～



「地元企業研究会」の様子



〈岩内町経営企画部企画財政課〉

☎0135-62-1011

mail: kikaku@town.iwanai.lg.jp

知内町

人口 4,044人(2022.1)
主な観光ポイント
重内展望台、松前矢越道立自然公園

過疎が進む小さな町の高校を魅力化



知内高校



知内高校（野球部）

町立高校の魅力を最大限発揮させるために

知内町は、1次産業が基幹産業で、北海道1の産地を誇る「ニラ」などの山の幸や津軽海峡の荒波に揉まれた「カキ」などの海の幸が有名です。

このプロジェクトは過疎が進む小さな町の「町立知内高等学校」の魅力化を図り、その存続に向けて生徒の安定的な確保や学校・生活環境の向上、卒業後の新たな地域の担い手として活躍し、互いに絆を深めることで人口減少の抑制を目指します。

持続可能なまちづくりのための第一歩となる取組に、ぜひお力添えをお願いいたします！

■プロジェクト

町立知内高校魅力化プロジェクト

強豪校として登りつつある部活動の老朽化している設備や備品の更新と安心安全な教育環境の導入

事業年度・事業費

令和3～6年度

260,000千円



知内高校（体育祭の様子）



〈知内町政策調整課〉

☎01392-5-6161

mail: kikaku@town.shiruiuchi.hokkaido.jp

音威子府村

人口 682人(2022.1)
主な観光ポイント
エコミュージアムおさしまセンター

村立おといねっふ美術工芸高校の魅力化



村立おといねっふ美術工芸高等学校



村立おといねっふ美術工芸高等学校
(ロビー)

ものづくりを通じた人づくり

北海道で一番小さな村・音威子府村で、美術工芸を学ぶために全国各地から生徒が訪れる、北海道おといねっふ美術工芸高校。

村立工芸科高校として、寮生活のもと「ものづくり」と向き合える環境、地域との交流を通じて、創造力豊かな「人づくり」を実践しています。

更なる高校魅力化を図るため、企業版ふるさと納税を通じた応援のほか、多種多様な経験を持つ人材や、企業ならではのノウハウの提供など、多角的な協力をいただける企業を募集しています。

プロジェクト

おといねっふ美術工芸高校振興事業ほか

木材購入/生徒作品展の開催/寮運営など

事業年度・事業費

—
140,000千円



〈音威子府村総務課地域振興室〉

☎01656-5-3311

mail: tiikishinkou

@vill.otoineppu.hokkaido.jp

枝幸町

人口 7,640人(2022.1)
主な観光ポイント
ウスタイベ千畳岩、健康回復村

地域医療を支える人材育成・確保



枝幸町国民健康保険病院



枝幸町マスコットキャラクター
「えさっしー」

医療体制維持に向けた支援制度

枝幸町では、医療技術者等が慢性的に不足しており、地域医療体制の維持は、重要かつ喫緊の課題となっています。

地域医療や介護現場を支える人材の育成・確保に向けて、町内の事業所等への勤務を希望する医療従事者等に対する養成機関への修学の際の資金の貸付や、町内での就業を希望する方に対し、就業時の経済的援助を行う「医療技術者等修学資金貸付・就業時一時金貸付制度」などの支援を行っています。

プロジェクト

医療技術者の修学・就業支援

修学資金の貸付/就業時一時金貸付

事業年度・事業費

令和2年度～
各年度 12,000千円



医療体制を維持し地域を守る



〈枝幸町まちづくり推進課〉

☎0163-62-1329

mail: futabashuji@esashi.jp

釧路市

人口 163,110人(2022.1)

主な観光ポイント
釧路湿原、和商市場

1人の雇用を生む100社の育成を目指して



k-Biz相談風景



k-Biz支援事例(販路拡大サポート
商品食べる米ぬか「ぬかっこ」)

k-Bizによる売上UP策提案と実行支援

釧路市では、2018年に公設民営の無料経営相談所「釧路市ビジネスサポートセンター k-Biz」をオープン。

相談企業が持つ真の価値や強みを見抜き、それを生かした具体的な売上UP策の提案と伴走型の実行支援を行うことで、「1人の雇用を生む100社の育成」を目指す取組を進めています。

オープンから4年弱で来所相談件数は6,800件にもものぼり、市内外から約900社が訪れる「行列のできる相談所」となっています。成果事例も多数生まれ、地域内外の事業者を結びつけるビジネスマッチングの実績もあります。

企業版ふるさと納税等のご連絡をお待ちしております。

■プロジェクト

k-Bizを核とした中小企業及び創業支援

経営相談を通じた売上UP策提案
と伴走型実行支援/相談者同士の
ビジネスマッチング など

事業年度・事業費

令和元～5年度

各年度 56,986千円



釧路市ビジネス
サポートセンター



公式 HP



公式 Facebook



〈釧路市産業振興部商業労政課〉

☎0154-31-4611

mail: sho-shougyourousei

@city.kushiro.lg.jp